

小池ゆうや

上尾市議会議員



小池ゆうや 後援会事務所

〒362-0035 埼玉県上尾市仲町 1-10-3
TEL. 048-671-7789 FAX. 048-672-8579
yuyakoik@gmail.com

政策の詳細をインターネットで確認することもできます。



小池ゆうや公式HP

小池ゆうや

KOIKE YUYA, Ageo City Councilor Report 2023.04

07

今回のポイント

【Pickup!!】埼玉県議選を経て、変わること

上尾・伊奈地区からは尾花あきひとさんが当選！今後期待されることを解説。

【特集】小池の視点！次年度予算を徹底解説！

3月定例会で可決された上尾市の令和5年度予算の中身について解説します。

【特集】令和5年度から開始する主な事業

令和5年度当初予算の中から新規事業をピックアップ。事業内容をまとめました。

議会スケジュール

令和5年6月定例会

6月5日(月) 開会
6月14日(水)～ 一般質問
6月23日(金) 閉会

※一般質問 登壇予定。

カテゴリ	事業名	事業内容
市民生活	1 市民意識調査事業	市民意見を施策に反映するため、市民の市政に対する意識の動向を5年に1回調査するもの
	2 防犯活動推進事業	遺族や被害を受けた犯罪被害者等の経済的負担を軽減するため見舞金を支給する
	3 キャッシュレス決済導入事業	市民課、証明書発行センター、各支所・出張所の窓口において、証明書等手数料の納付についてキャッシュレス決済を導入する
	4 上尾伊奈資源循環組合運営事業	ごみ処理に関する事務を共同処理するため設立する上尾伊奈資源循環組合の運営費に係る負担金を支払う
	5 図書館資料整備事業(りんごの郷の設置)	読書バリアフリー法を踏まえ、特別な配慮を必要とする人に向けた特設コーナー「読書バリアフリーコーナー」を図書館本館に設置

カテゴリ	事業名	事業内容
出産・子育て	1 子ども・子育て支援制度推進事業	子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査を行う
	2 民間保育所施設整備	民間保育所等の施設整備に対して補助を行うもの
	3 出産・子育て応援事業	妊娠前から出産・子育てまで一貫して身近に相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型支援を実施し、経済的支援を一体として実施
	4 市立保育所管理運営	公立保育所を運営するために必要な事業を行うもの
	5 子ども・若者サポート事業	①関係機関と支援団体等との調整役として、ヤングケアラーを適切な福祉サービスに繋ぐ相談員を配置 ②ヤングケアラー自身が抱える悩みを気軽に相談でき、当事者同士が交流できるオンライン上の居場所を設置
	6 新米家族のきずなレストラン	初めての子育て向け妊婦とパートナーが絆を深められるように妊婦が妊婦体験をし、その間にパートナーが2人分の健康メニューを調理する

カテゴリ	事業名	事業内容
その他	1 市制施行65周年記念事業	令和5年10月に市制施行65周年を記念して行う事業

カテゴリ	事業名	事業内容
教育	1 国際友好交流	オーストラリア・ロッキャーパレー市への中学生派遣。周年事業等と合わせて同市を招請する事業
	2 民間スイミングスクール水泳授業モデル事業	民間スイミングスクールを活用した水泳授業のモデル事業を実施する
	3 部活動地域移行推進	部活動の地域移行の推進を検討する協議会の設置と教員に代わる指導や大会等への引率が可能な部活動指導員を導入
	4 特別支援教育マイスター派遣	各小・中学校に特別支援教育マイスターを派遣し、特別支援学級または通級指導教室担当教員への指導・支援を行う
	5 中学校特別支援学級設置	上尾市内の中学校に特別支援学級を設置する(上尾市立南中学校)
	6 給食費の公会計化	私会計で扱っていた学校給食費について、資金の透明性の向上のため、市一般会計に組み込む公会計化を導入する

カテゴリ	事業名	事業内容
伝統・文化	1 ICTを活用した上尾市史等発信事業	貴重な歴史資料を電子化し、どこでもアクセス可能にするのと同時に、電子化した書籍、文化遺産ガイド内の映像などをデジタルサイネージで発信
	2 市制施行65周年記念民俗芸能公演事業	市内で継承活動を行っている無形民俗文化財の保存団体による舞台上演
	3 「抽田・畑作用具」展示施設整備事業	国指定重要有形文化財「上尾の抽田・畑作用具」をはじめ、上尾の歴史や文化を紹介するため、自然学習館の展示室の一部を改修

カテゴリ	事業名	事業内容
防災・減災	1 上尾市・伊奈町消防広域化の実施	令和5年4月から、伊奈町から消防事務の管理及び執行を受託することに伴い発生する費用
	2 市制施行65周年記念消防フェア事業	市制施行65周年及び上尾市と伊奈町の消防広域化開始に伴い、「消防フェア2023」を開催。
	3 防災情報等配信事業(一斉情報配信システムの導入)	防災情報等の一斉情報配信システムを導入することで、災害時における市民への情報配信をより迅速に行うことを可能にする
	4 救助工作車の更新・高度救助資機材の導入	東消防署に高度救助資機材を積載した救助工作車Ⅲ型を導入するもの

SNS公式アカウント



日々の活動や市政ニュースをお届けしています。気軽にフォローして下さい♪

小池ゆうや後援会では、入会いただける方を募集しています。本会は、小池ゆうやの政治活動を後援することにより、上尾市政の発展と上尾市民の生活向上を図ることを目的とします。また本会は、会費または、寄附金及び賛助金で運営されます。趣旨にご賛同いただけましたら、「小池ゆうや後援会事務所」までお問合せ下さい。

令和5年度からスタートする主な事業一覧

カテゴリ	事業名	事業内容
健康・福祉	1 高齢者優待カード事業	65歳以上の高齢者が協力店舗で高齢者優待カードを提示すると優待サービスが受けられる制度を創設
	2 健康づくり推進事業	ターミナル期(終末期)の若年がん患者の在宅療養支援について、健康づくり推進協議会を開催し、事業実施について協議を行う
	3 各種検(健)診事業	現行のX線バリウム検査による胃がん検診に胃内視鏡検査を追加。胃がん検診は、X線バリウム検査(集団検診)または胃内視鏡検査(個別検診)の選択が可能に(年齢や回数など条件あり)
	4 キウイフルーツを用いた健康レシピの開発	上尾市特産品であるキウイフルーツを用いた健康レシピを開発する栽培農家の講話等でキウイフルーツについて学習した上で、中学生から健康レシピを募集し、優秀なレシピ表彰
都市整備	1 総合福祉センター大規模改修	各設備の不具合等が発生する可能性が高まっている状態であるため、大規模改修を実施する(実施設計及び一時移転)
	2 かわまちづくり事業	荒川堤防整備に係る附帯工事や計画の策定を行う
	3 UDトラックス	UDトラックス上尾スタジアムスコアボードの改修工事を実施
	4 上平広場の外周フェンス等の整備	上平広場の外周フェンス等の整備工事を実施
広報	1 上尾市魅力発見ムービーの制作	普段見られない施設の裏側など、若い世代をターゲットとした動画を作成し、市公式YouTube(あげTube)で配信
	2 あげおの魅力川柳コンテスト事業	上尾市の魅力、住みやすさをPRできるもの(場所、もの、体験、イメージなど)をテーマに川柳コンテストを実施

Pickup!! ニュース

都市整備 埼玉県議選に尾花あきひとさんが当選！この選挙によって、今後変わることは。

3月31日に告示された統一地方選。4月9日に投票日を迎え、新人で自民党公認の尾花あきひとさんがトップ当選を果たしました。今まで自民党議員が不在だった上尾市。自民党が一枚岩となり勝ち取った今回の選挙で、これから何が変わるのでしょうか。

1 愛宕陸橋交差点の渋滞緩和

道路には、国道・県道・市道などの「区分」があります。そして、その名の通り、国道は国が、県道は埼玉県が、市道は上尾市が管轄します。上尾市は特に交通渋滞が頻発するエリアとして有名で、特に「愛宕陸橋交差点(旧中山道沿いヤマタ電機付近)」の渋滞は、市民生活に大きな影響を与えています。しかし、4年以上この渋滞問題が解決されることはありませんでした。本件については、尾花あきひとさんが市議時代に、何度も議会で問題提起をしており、自民党上尾支部として、改善の要望をしています。しかし、旧中山道は道路区分上「県道」にあたります。つまり、埼玉県議選が動かない限り改善に向かわないのです。今後、物流倉庫の建設が進んでいることから、旧中山道沿いの渋滞問題はさらに悪化する恐れもあります。自民党議選が過半数を占める埼玉県議選に、上尾出身の自民党議員が在籍することで、渋滞緩和が進むことが期待されます。

2 水上公園の跡地活用が促進

上尾市にある公共施設には「市がもっているもの」と「埼玉県がもっているもの」があります。2022年に惜しまれながらも閉園した水上公園は、県の所有になります。つまり、上尾市に立地しながらも、跡地の利活用は埼玉県が決定するわけです。そして、水上公園跡地には「スポーツ科学拠点施設」が整備されることが決定しています。スポーツ科学拠点施設は、「県の総合スポーツ拠点として、アスリートの育成、県民が利用しやすい健康づくりに寄与する施設」と定義されていますが、小池からも「本施設が立地している、上尾市の皆さんにとって、親しみやすく、利用しやすい施設の整備」をかねてより要望しています。県の整備スケジュールでは、令和5年度に設計を行い、令和9年度中の建設完了を目指しているようですが、上尾市民に



他にも市単独では取り組めない河川の改修や、埼玉県が35%を出資して運営しているニューシャトルの運営改善など、主に都市整備における県議会の役割は非常に重要です。しかし、エリアごとの人口比率でみた場合、県央エリア全体の、およそ51%の人口が上尾・伊奈地区に集中しているにも関わらず、ここ数年で県の都市整備予算は減少し続けており、地元で仕事のできる県議が不在であったことの影響があったと言わざるを得ません。これは、この先10年・20年でまちづくりを考えた際、今の子どもたちが大人になったとき、大きな問題を引き起こす可能性がります。将来のまちがどうなっていくのか想像すると、今回の県議選がいかに重要であったかが、よく理解できるのではないのでしょうか。何より、国と市の「中間管理職」的な役割を担う県議選に、地元自民党議員が誕生したことで、国・県・市の強いパイプが形成されたことは、本市にとって飛躍の大きな一歩です。市だけでは解決できなかった課題を、市議と県議・国会議員が連携して取り組める環境を構築できたことが、この選挙の一番の成果であったと考えます。

徹底解説!

令和5年度予算

令和5年度の当初予算は、過去最大の743億円となりました。小池は予算委員会の委員として、所属会派を代表して質疑を行いました。本レポートでは議会中に行った質疑をもとに、本市の今の財政について、次年度の予算のポイントや、そこから分かる問題点について解説します。

(図表は全て小池作成。単位は千円)



令和5年度予算に出口小池の視点

- 歳入ヨミの精度と積算スタンスの見直しを。
- 法人市民税が減額予想。市内経済の活性化のためにも、事業所支援の拡充を!
- 「貯金」に過度に依存しない財政運営を。経営感覚をもって、財源確保を充実すべき。
- 物価高騰が行政運営にも大きく影響。市民生活への支援と合わせて対策を。
- 定住促進につながるチャレンジが必要。
- 新たな憩いの場「かわまちづくり」に期待!
- 事業目的の明確化と効果検証で市民理解を深めるべき

R5はコロナ禍での臨時財政運営方針から脱却して2年目の年になります。本市の経済・社会情勢をコロナ前に戻し、上昇基調に乗せるために「チャレンジできる予算配分」となる「か」が大きなポイントとなります。

① R4対比で増減した項目

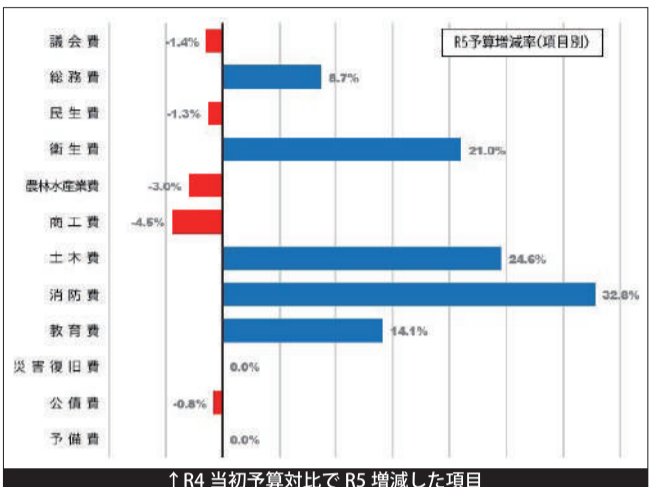
予算全体を見ると、昨年度の当初予算と比較し増額されたものは「総務費」「衛生費」「土木費」「消防費」「教育費」です。一方、「農林水産業費」「商工費」は減額となりました。

「総務費」ではデジタル行政推進のためのキャッシュレス端末の導入や、市全体での防災訓練などの防災対策費、市制65周年関連の事業の予算計上が増額要因です。

「衛生費」では、子宮頸がん予防9価ワクチンの定期予防接種化及びキャッチアップ対象者の時限的拡充、省エネ対策推進奨励金の拡充や脱炭素シナリオ検討調査などの地球温暖化対策への取り組み、さらに、上尾伊奈の広域ごみ処理施設整備の推進や西貝塚環境センターの基幹設備改良に係る費用が計上されています。

「土木費」では本市の大きな課題でもあった、荒川の未堤防地域の堤防整備が進むことになったことを受け、周辺のまちづくりを進める「かわまちづくり事業」が予算化されています。「消防費」の増額は、上尾伊奈の消防広域化を背景に、消防車両を整備するものです。

「教育費」では、学校施設の更新計画や、水泳の授業を実験的に民間スイミングスクールで実施する内容、ICTを活用して上尾市史等を発信する事業が盛り込まれました。尚、学校給食の会計処理をR5から市で行うことになったことが大きな増額要因となっています。

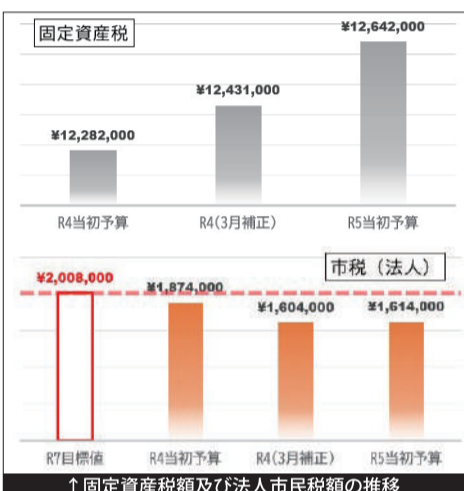


② 歳入全体は堅調に増加

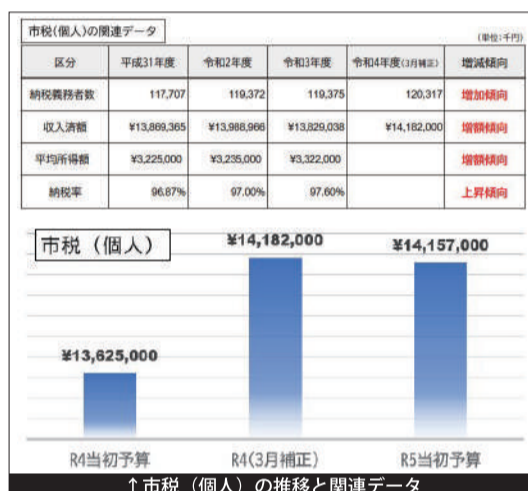
歳入全体で見ると、R4当初予算対比で138億円となっており、特に市税は堅調に推移しています。特に額の大きい個人市民税は、納税義務者数や納税者の平均所得額が増加していることに加え、職員の方々の努力により、納税率が改善している傾向があります。一方で、令和4年度の最終見込み額(歳入の補正予算額)と比較すると微減となっており、市としては、社会情勢の不透明性を考慮して、かなり堅めにヨミをたてていると言えます。これは直近数年間に言える特徴で、「歳入を堅めに読み過ぎる」→「歳入が想定より多くなった結果、年度末に予算が余る」→「余った予算が基金にまわる」といった流れができてしまっています。財政運営上は問題ありませんが、事業単位で見ると、歳入のヨミの精度が高ければ、もっと予算をつけることができた事業があった可能性もあります。つまり、税金を効果的に活用する上でも、歳入の積算は非常に重要であるといえます。

③ 市内事業所の支援拡充を!

歳入における本市の課題は法人市民税です。R3の決算時点で回復基調だった法人市民税は、物価高の影響を受け、R5は減額見込みとなりました。法人市民税は市内事業所の業績をダイレクトに反映するため、市として市内事業所への支援にテコ入れが必要であると考えます。そこで、小池の所属する上尾同志会では、適切な支援をタイムリーに実現するため産業別のニーズ調査をかねてより要望しています。市では、R7時点で法人市民税額20億円を目標としており、既存の事業所支援と新規の企業誘致を並行して実行していく必要があります。何より、市内事業所の業績向上は、雇用を生み出し、市内経済の活性化に繋がります。定住促進が促進されることで、個人市民税や固定資産税の増加にも寄与する可能性も秘めており、今後の市財政を健全に運用する上でも、その重要性がますます高まると考えられます。

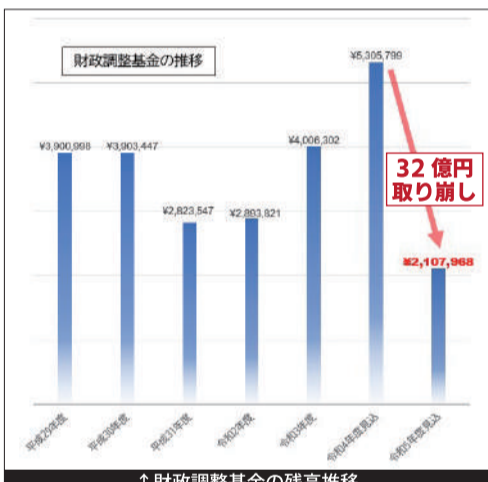


また、「固定資産税」も非常に重要な財源です。こちらも堅調に推移しており、ここ数年は商業施設や物流倉庫の開設に伴い増加が続いています。R5も家屋の増加を見込み、R4当初予算比で3億6千万円の増額を見込んでいます。



④ 「貯金」に依存しない重要性

財政運営上、今後課題となると考えられるのが、「貯金への依存を解消できるか」です。自治体は万が一の場合に備えて「財政調整基金」という貯金を積み立てています。本基金は、①足りない予算を補填する、②緊急で支出が必要になった際に活用する、という2つの用途があります。本市では現状前述の①の目的で活用されることがほとんどです。そして、R5はこの財政調整基金の取り崩し額が過去最大となりました。



しかし、施設の老朽化や災害の激甚化が進む昨今、いつどこで緊急の支出が発生するかわかりません。そのため、万が一に備えてまとまったお金を貯めておく必要があります。市としてもガイドラインを定めています。現在の財政状況では、貯金を取り崩さないと必要な事業が実施できない状態となっており、財政調整基金への依存が加速しています。今後、貯金を取り崩さなくてもすむよう、市としても「経営感覚」をもって歳入の拡大策を広く検討していく必要があると考えます。

⑤ 物価高にいかに対応するか

R5予算審査で、一般家庭だけでなく、行政の財政運営においても物価高騰の影響が出始めていることが分かりました。中でも、庁舎や公共施設における光熱水費の影響が非常に大きく、R4対比で4億2千万円増加し、10億1千万円となっています。国からも各種支援策が実施される予定となっているものの、それだけではカバーしきれない増額幅です。ただでさえ、本市は財政的にあまり余裕がない中で、事業以外の経費に税金を投入することは避けるべきです。市民生活への支援策とともに、公共施設の管理業者も巻き込んだ光熱水費などの経費削減を全庁的に取り組むよう要望しました。

⑥ 定住促進施策の在り方が重要

本市の財政の持続性を高めるためにも歳入拡大策は重要であり、定住促進策は最も効果のある政策の一つです。R5は市制施行65周年を皮切りに本市の魅力を一挙にアピールしようとしています。しかし、シテイセールスで最も大事なことは「発信する方法」ではなく「発信する内容」です。例えば、子育て施策においても、「市独自で支援金を子ども一人あたり5千円追加することで、実質的に給食費を無償化する取組み」や、「公立保育所でも先端的に英語やプログラミング教育を実施し教育施策を強化する」など、政策自体を市の魅力として引き出す仕掛けが重要です。残念ながら、R5当初予算の中では、こうした本市のプレゼンスを高めるようなチャレンジが薄かったように感じます。今後は小池個人としても、広報関係部署と政策を執行する部署が横断的に政策を立案できるよう、声をあげてまいります。

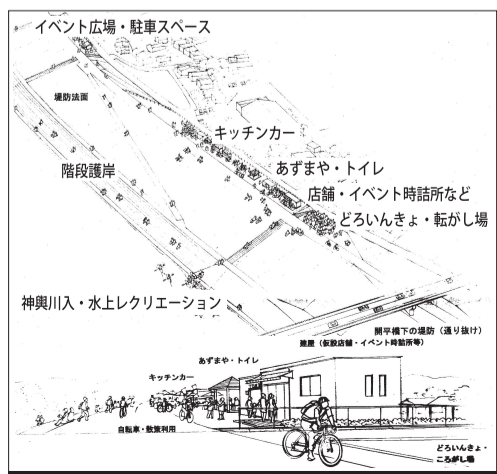
⑦ 「かわまちづくり」が予算化

本予算の中で評価すべきポイントは、荒川堤防の整備と合わせて、周辺のまちづくりも予算化されたことにある。かわまちづくりとは「河川空間とまち空間が融合した、良好な空間形成を目指す取組み」と定義され、広場やカフェ、サイクリングロードなどの市民の皆さんの憩いの場となるような施設が整備される予定です。この計画は3月定例会で「かわまちづくり条例」が議会で可決され、R6中の完成を目指して計画が進みます。そして、堤防整備を行う国と連動した取組みでもあることから、島山市長の手腕が問われる施策でもあります。

⑧ 事業目的の明確化と効果検証

本市では、スポーツ健康都市やゼロカーボン推進といった将来のまちのビジョンに紐づく宣言が出されています。R5は健康レシビの開発がスポーツ健康都市を目指すための事業の一つとして企画されているものの、「キウイフルーツを用いる」という条件が満たされず、シテイセールスの要素も含まれてしまっており、政策のブレが見えます。「何を目的として」「どのような理由で実施するのか」が市民にも伝わるような合理性が、市民の皆さんの理解を得るためには重要です。

また、かねてより小池からゼロカーボン推進に関連する基金(地球温暖化対策基金や森林環境税と税基金)の中長期的な活用計画を策定するよう要望しています。特に、森林環境税と税については、自治体の41%が使い切っていないという課題がある中で、上尾市としてどのように気候変動に向き合うのか、活用計画はその指針を示すものです。現在行っている施策の効果検証を行いつつ、最小の経費で最大の効果を生み出す取組みに期待します。



お知らせ

市民のための政策を全力推進!!

「今」を変えれば、「未来」が変わる。

小池ゆうや

小池ゆうや後援会のご案内

小池ゆうや後援会。パンフレットができました。ハガキを切り取って、必要箇所を記入したらポストに入れるだけ! 小池ゆうやを応援いただける方、是非お問合せ下さい!